

中小企業等新事業創出連携推進事業補助金事業計画書

1. 代表事業者概要

名称	株式会社A																																																													
所在地	〒XXX-XXXX 滋賀県▲▲市□□町1-1																																																													
代表者役職氏名	代表取締役 滋賀 太郎		担当者名	滋賀 花子																																																										
TEL	XXX-XXX-XXXX		FAX	XXX-XXX-XXXX																																																										
e-mail	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx@xxxxx.co.jp																																																													
従業員数	10 人	業種	サービス業 (飲食店・レストラン)	資本金	10,000,000円																																																									
国の実施する持続化給付金を受給していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> している 給付通知書(写し)を添付してください			<input type="checkbox"/> していない 「(別紙2)売上確認明細書」を添付してください																																																										
新型コロナウイルス感染症の影響について	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社(株式会社A)は▲▲市に移転後、定期的なメニュー開発と、顧客との積極的なコミュニケーション、SNSでの宣伝が功を奏し、売上は増加基調にあった。 ・ しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、売上は激減。特に緊急事態宣言が発動された4~5月は、店を臨時休業せざるを得なくなり、壊滅的な影響を受けた。 ・ その後、GoToイートキャンペーンなどにより、客足は徐々に回復してきているものの、依然客席の間引きを継続しており、売上は以前の6割程度の水準に落ち込んでいる。 <p>売上高推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018年</td> <td>965千円</td> <td>990千円</td> <td>1,015千円</td> <td>1,010千円</td> <td>980千円</td> <td>975千円</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>1,000千円</td> <td>1,000千円</td> <td>1,000千円</td> <td>1,200千円</td> <td>1,000千円</td> <td>1,000千円</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>1,200千円</td> <td>1,000千円</td> <td>600千円</td> <td>300千円</td> <td>100千円</td> <td>200千円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018年</td> <td>970千円</td> <td>980千円</td> <td>1,050千円</td> <td>980千円</td> <td>950千円</td> <td>1,100千円</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>1,000千円</td> <td>1,000千円</td> <td>1,000千円</td> <td>1,000千円</td> <td>1,000千円</td> <td>1,200千円</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>300千円</td> <td>400千円</td> <td>500千円</td> <td>600千円</td> <td>未定</td> <td>未定</td> </tr> </tbody> </table>							1月	2月	3月	4月	5月	6月	2018年	965千円	990千円	1,015千円	1,010千円	980千円	975千円	2019年	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,200千円	1,000千円	1,000千円	2020年	1,200千円	1,000千円	600千円	300千円	100千円	200千円		7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年	970千円	980千円	1,050千円	980千円	950千円	1,100千円	2019年	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,200千円	2020年	300千円	400千円	500千円	600千円	未定	未定
	1月	2月	3月	4月	5月	6月																																																								
2018年	965千円	990千円	1,015千円	1,010千円	980千円	975千円																																																								
2019年	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,200千円	1,000千円	1,000千円																																																								
2020年	1,200千円	1,000千円	600千円	300千円	100千円	200千円																																																								
	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																								
2018年	970千円	980千円	1,050千円	980千円	950千円	1,100千円																																																								
2019年	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,200千円																																																								
2020年	300千円	400千円	500千円	600千円	未定	未定																																																								

2. 事業計画

補助事業計画名	キッチンカーによる、テイクアウト中心の出張専用店舗計画
事業実施期間	令和 2 年 10 月 1 日 ~ 令和 3 年 2 月 28 日
<p>①事業目的</p> <p>(1) 会社概要</p> <p>代表事業者</p> <p>名称 : 株式会社 A 所在地 : 滋賀県▲▲市□□町 1-1 代表者 : 滋賀 太郎 業種 : 飲食店 (焼鳥屋) 事業沿革 : 平成 15 年 4 月 滋賀太郎 (現 : 代表取締役)、焼鳥屋●●に入社 平成 20 年 1 月 個人事業主として、■市にて開業 (焼鳥屋●●の、暖簾分け) 平成 23 年 3 月 ▲市にて移転 平成 25 年 4 月 法人成 現在に至る</p> <p>連携事業者</p> <p>名称 : 株式会社 B 所在地 : 滋賀県▲▲市□□町 1-999 代表者 : 近江 二郎 業種 : 飲食店 (たこ焼き屋) 事業沿革 : 平成 26 年 8 月 ▲市にて開業 平成 28 年 6 月 活動のメインをイベント会場に絞る 現在に至る</p> <p>(2) 事業目的</p> <ul style="list-style-type: none">代表事業者の株式会社 A は、開業後 12 年、▲市に移転後 9 年を超え、当地では一定の知名度を有している。また代表の滋賀太郎は、平成 30 年より地元商工会青年部の副会長を務めており、地元企業等への人脈は豊富に有している。顧客の年齢層は 40~60 代が中心。一方、連携事業者の株式会社 B は、濃厚な味付けに加えて、大振りのタコと細かく切ったイカを混ぜるといった斬新なスタイルを貫いており、固定ファンも多い。現在ではイベント会場のブースをメインに活動しており、B を目当てにイベント会場に来るファンもいるほどである。顧客の年齢層は、20~30 代が中心。新型コロナウイルスの感染症拡大により、A は店舗来店客の減少、B はイベントの減少により、ともに売上は激減している。これまでに取り込めていなかった▲市駅付近の顧客を取り込むため、A の知名度、B の商品力を活かした、共同事業を計画。駅前に、当地では初めてとなる、キッチンカーによる出張専用店舗を実施し、ファミリー層やサラリーマン層の需要を開拓するもの。	

②事業の確実性（実施体制、能力等）

(1) 事業実施体制

本事業の役割	役職・氏名等	備 考
総責任者	株式会社A 代表取締役 滋賀 太郎	事業全体の統括責任者。 キッチンカー事業（焼鳥、飲み物関係）の仕入および経理を担当。
事業実施責任者	株式会社A 専務取締役 滋賀 花子	新規事業であるキッチンカーの現場責任者。 キッチンカー事業の、調理・接客担当。
事業実施副責任者	株式会社B 代表事業者 近江 二郎	キッチンカー事業（たこ焼き）の仕入を担当。
担当者	株式会社B 事業部長 琵琶 三郎	キッチンカー事業（たこ焼き）について、滋賀花子氏へ調理の指導を行う。

(2) 商品の分担

メニュー（案）

焼鳥	・ 具材はAが仕入 ・ 売上は全てA
たこ焼き	・ たこ焼きのタネや具材、ソースはBが仕入 ・ 売上は全てB
その他メニュー	・ 基本的に全てAが仕入 ・ 売上は全てA

(3) 事業実施スケジュール

	令和2年			令和3年			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
構想・商品開発	→						
事業用地交渉							
キッチンカー購入				◆			
HP、チラシの作成			→				
事業開始							→

補助事業終了

※事業については、許認可取得後の令和3年4月より開始予定。

(4) 資金調達計画

資金調達計画

必要資金		金額 (円)	調達方法	金額 (円)
運 転 資 金	商品仕入 (1か月分)	100,000	金融機関借入	1,500,000
	消耗品購入	100,000	補助金	3,120,000
	チラシ作成	330,000	自己資金	475,000
	HP作成	825,000		
	試作品の開発費	110,000		
設 備 資 金	キッチンカー購入	3,630,000		
合計		5,095,000	合計	5,095,000

補助金計算

商品仕入・・・販売目的であり、対象外

消耗品購入・・・汎用性のある消耗品であり、対象外

チラシ作成・・・300,000円(税抜) × 4/5 = 240,000円

HP作成・・・750,000円(税抜) × 4/5 = 600,000円

開発費・・・100,000円(税抜) × 4/5 = 80,000円

キッチンカー・・・3,300,000円(税抜) × 2/3 = 2,200,000円

支払地代・・・R3.2.28までは発生しないため対象外

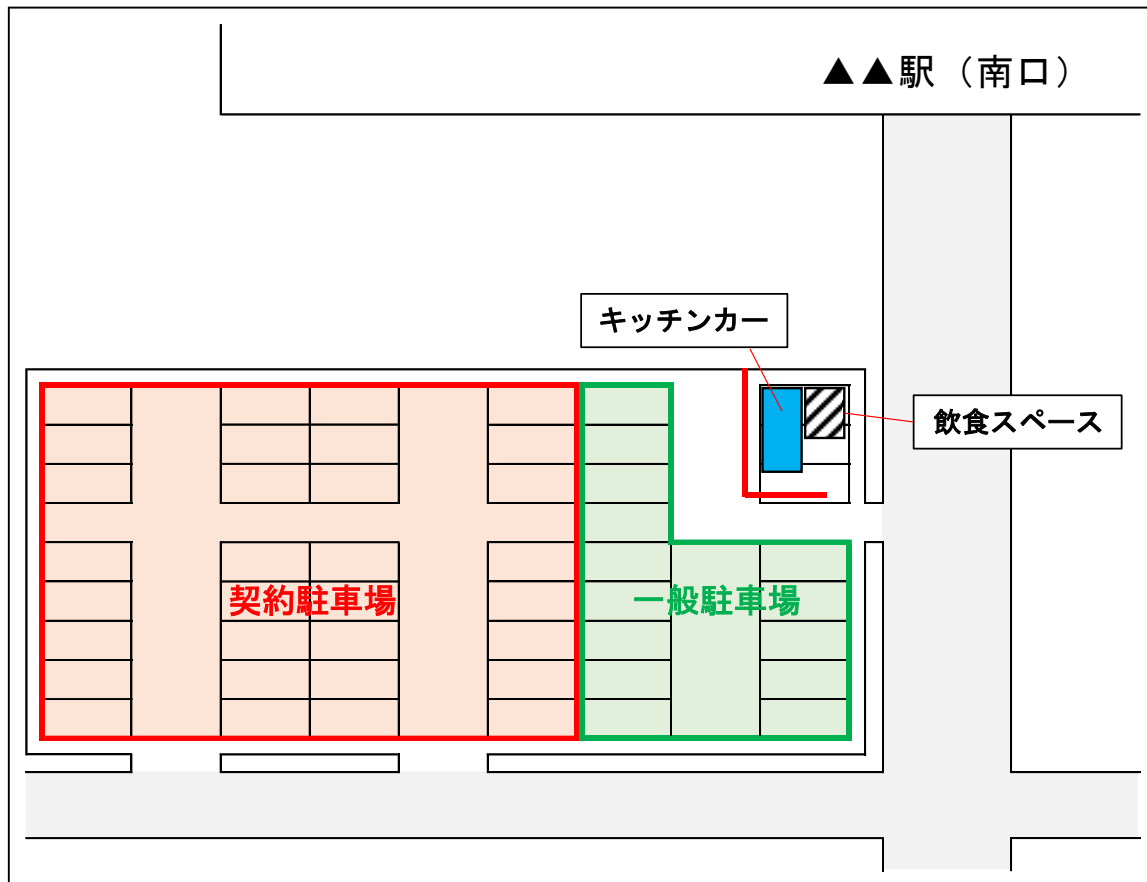
補助金合計・・・3,120,000円

③事業内容（事業内容の熟度・具体性、工夫、費用対効果等）

（１）取組内容・実施方法

▲▲駅前の駐車場の一角にキッチンカーを常駐させ、テイクアウトを軸として、一部飲食スペースを設けることにより、▲▲駅を利用する家族層や帰宅するサラリーマンの利用を促すもの。

事業イメージ



（２）社会情勢・市場のニーズ

- ・▲▲駅周辺は飲食店が少ないことより、住民ニーズの高い地域であるが、賃料の高さや物件の少なさから、飲食店の進出が遅れている。今般の新事業は、キッチンカーを利用して、今までターゲットにできていなかった▲▲駅を利用する家族層や帰宅するサラリーマンの取り込むことで、新規分野での成長を企図するものである。
- ・2020年の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国内では3密（密閉、密集、密接）回避のため、室内での飲食需要が激減した。各飲食店の感染症対策により、飲食需要は徐々に戻りつつあるものの、飲食店においてもニューノーマル（新常态）を意識した取り組みが必要と考える。本事業は、屋外で飲食を提供する取り組みであり、従来と比較すると、新型コロナウイルスの感染リスクは極めて低くなる。
- ・以上より、本事業は社会情勢・市場ニーズとも満たす取り組みであると考えます。

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面

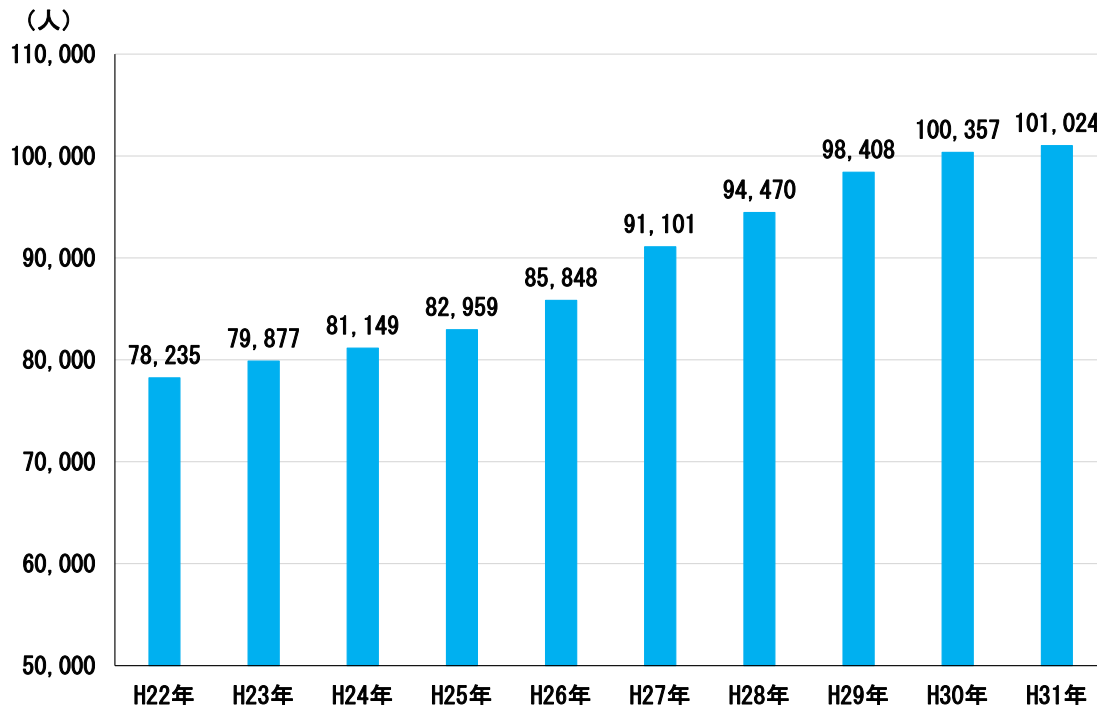


出所：厚生労働省

(3) ターゲット市場

- ・▲▲市は滋賀県の中でも有数のベッドタウンであり、特に市の北部は人口が急増している。
- ・総務省によると、▲▲市の人口は平成 22 年に 8 万人弱であった人口は、平成 31 年に 10 万人超となっており、人口増加の大半が市北部に乱立したマンション群の影響である。
- ・これら急激な人口増加に対応するため、平成 30 年には鉄道の新駅ができた。
- ・しかしながら、乱立したマンションの間に駅ができたため、駅前には住宅以外の建物が少なく、飲食店数は県内他市と比較しても少ない。

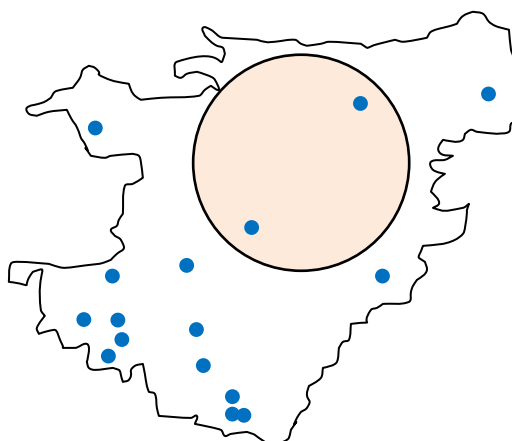
▲▲市の人口推移



県内近隣他市の人口と、駅周辺の飲食店数

	▲▲市	■■市	○×市	●○市
人口 (H31 年時点)	101 千人	303 千人	124 千人	89 千人
駅名	▲▲駅	■■駅	○○駅	○●駅
駅周辺 1km 圏内の 飲食店数	2	30	12	14

▲▲駅周辺 1km 圏内の飲食店数



(4) 費用対効果

事業計画（新事業にかかるもの）

（単位：千円）

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
売上高	3,600	4,800	4,944	5,092	5,245
（うちA）	(3,024)	(4,032)	(4,153)	(4,277)	(4,406)
（うちB）	(576)	(768)	(791)	(815)	(839)
売上総利益	2,520	3,360	3,461	3,565	3,672
販管費	2,177	2,902	2,902	2,902	2,902
営業利益	344	458	559	663	770
当期利益	206	275	335	398	462
減価償却費	413	550	550	550	550
借入金返済	225	300	300	300	300
C F	394	525	585	648	712

売上高	営業は週に2日（金、土）を予定。 金：17時～21時までの4時間営業 土：14時～20時までの6時間営業。 令和4年までは1日売上50千円×2日×4週×12か月＝4,800千円 ※1日の売上内訳（A：42千円、B：8千円） ※令和3年は、4～12月の9か月分のみ。 以降、毎年3%の売上増加にて。
売上総利益	粗利率は70%にて。
販管費	人件費は1.5千円×1名×5.5時間×2日×4週×12か月＝792千円 ※常時1名体制 ※金土の平均営業時間は5時間。 30分は準備期間として、人件費に含める。 スペースは駅前駐車場の3台分を予定。 地代80千円×12か月＝960千円 水道光熱費20千円×12か月＝240千円 消耗品費、雑費等30千円×12か月＝360千円 減価償却費は、年間550千円にて。

④事業の先進性、優位性

- ・本件と同様の事業は、株式会社M（中華料理屋）が5年前より●○駅で展開をしている。
●○駅周辺も▲▲駅と同様、ベッドタウンの中心に位置する飲食店の少ない駅であったが、同社のキッチンカー事業開始後、飲食店数は急増した。具体的には、5年前には3店のみであった●○駅周辺の飲食店は、2020年10月現在は7店に増加し、賑わいをみせている。

⑤事業のモデル性（本県経済への波及効果等）

- ・▲▲駅はJRの新快速停車駅にもなっており、利便性の高い駅である。そのため、▲▲駅周辺の住民の多くは、県外の会社で勤務をしており、仕事帰りの飲食店利用は県外が多い。
- ・本事業は、これらの住民がメインターゲットであり、消費を県外から県内へと誘導し、本県経済を活性化させることも目的としている。
- ・また本事業を行うと、Aの店舗の人員が1名減少（不足）となる。そのため、Aでは新たに従業員1名を採用予定であり、雇用の創出にも貢献する。

⑥事業化の実現可能性

課題1：一般の駐車場利用客に対しての、においについて

- ・キッチンカーの周辺に圧迫感の無い程度の囲いを行うことで周辺へのにおいの拡散を防ぐ。イメージについては、③事業内容（1）取組内容・実施方法をご参照。

課題2：新型コロナウイルス感染症について

- ・新型コロナウイルスの感染症対策として、従業員は必ず勤務前の検温を励行する。また、テイクアウトについてはオンライン予約可能とし、利用者が店頭に密集しないように注意を行う。
- ・店頭にはアルコール消毒液を常備し、従業員はマスクの着用を義務づける。

課題3：食品衛生対策について

- ・テイクアウトと同時に飲食スペースでは、アルコールを含む飲食物を提供する。食品衛生対策の観点より、刺身などの生物（なまもの）の提供は行わず、全て加熱処理をした商品のみ提供を行う。

今後の展開

- ・本事業については、第2キッチンカーによる事業も検討中（場所は▲▲駅北口）。駅北口事業については、異なる連携事業者とコラボレーションを検討しており、駅南口事業との相乗効果を目指す。

3. その他

- ・本事業については、X銀行Y支店に相談（担当者Z氏）。キッチンカー購入資金及び、初期投資費用に対する資金として、5,000千円の長期資金調達を内諾済。
- ・本補助金が採択となれば、長期資金のうち一部を補助金支給までの短期資金に変更し、本件記載通り金額にて資金調達を行う予定。